



サステナビリティ経営とSDGs

CSR
検定

CSR検定

2015年に国連がSDGs(持続可能な開発目標)を採択して以来、サステナビリティ経営が急速に世界や日本に浸透しています。SDGsを正しく実践するためには、ISO26000(組織の社会的責任の国際規格)などCSR(企業の社会的責任/社会対応力)の理解が不可欠です。CSR検定はCSRの正しい知見を共有することを目的としています。

3級
第10回
試験

1級
第1回
1次試験

(会場によって開始時間は異なります)
10月27日(日)午前10時

お申込期間: 7月1日(月)~9月6日(金)

3級試験

3級試験は毎年4月と10月、2級試験は毎年4月に、1級1次試験は毎年10月に実施します

3級受験の目的

CSRの基本的なリテラシー(理解力)を身につけること

試験時間 70分

問題数 40問(選択式)

出題範囲

公式テキスト(2019年改訂版)及びCSR検定アップデートを中心に
出題されます。

合格ライン 80%以上

受験料(税抜き)

- ◆一 般: 4,500円
- ◆特 割: 4,000円
- ◆学 生: 3,000円
- ◆特割学生: 2,500円

受験想定者

すべての社会人、学生

1級1次(準1級)試験

1級受験の目的

CSR・サステナビリティを経営に統合する戦略を立案・実践できること

試験時間 100分

出題形式 小論文(1000文字)

出題趣旨 2019年6月に発表予定

合格ライン 80%以上

受験料(税抜き)

- ◆一 般: 10,000円
- ◆特 割: 8,000円

受験想定者

CSR検定2級試験合格者、または[旧]サステナビリティCSR検定合格者に限ります

※2次試験の詳細は後日案内いたします

CSR検定3級試験

1~9回合格者ランキング

- 1位 株式会社ユニバーサルポスト(広島市、153人)
- 2位 カシオ計算機株式会社(東京都、88人)
- 3位 ブリヂストングループ(東京都、75人)
- 4位 株式会社野毛印刷社(横浜市、64人)
- 5位 カルビー株式会社(東京都、59人)
- 6位 横浜市立大学(横浜市、51人)
- 7位 アヤハグループ(天津市、52人)
- 8位 IDEC株式会社(大阪市、49人)
- 9位 サンメッセ株式会社(大垣市、44人)
- 10位 株式会社エイブルデザイン(長野県、40人)
リコーグループ(東京都、40人)
- 13位 日本道路株式会社(東京都、39人)
- 14位 セブン&アイグループ(東京都、35人)
第一生命保険株式会社(東京都、35人)
- 16位 東レエンジニアリング株式会社(東京都、30人)
- 17位 山陽製紙株式会社(大阪府泉南市、25人)
- 18位 駒澤大学(東京都、23人)
- 19位 東京都印刷工業組合(東京都、20人)
セガサミーグループ(東京都、20人)

2019年5月現在

試験会場

札幌、山形、仙台、宇都宮、埼玉第1(さいたま市)、埼玉第2(狭山市)、千葉、東京、横浜、長野、富山、愛知第1(名古屋)、愛知第2(刈谷市)、岐阜、三重、京都、大阪、広島、山口、今治、福岡、大分、熊本

詳細 www.csr-today.biz

共催 株式会社オルタナ
一般社団法人CSR経営者フォーラム

特割

特別協力団体割引制度: CSR検定を社内告知頂くだけで2級受験料が1080円、3級が540円安くなる仕組みです。

詳しくは → <https://www.csr-today.biz/24910>

3級(第1回~第9回)

受験者総数: 4194人
合格者総数: 3040人

大学生の合格者累計 (56大学 216人)
高校生の合格者累計 (16校 17人)

2019年5月現在

問い合わせ先

CSR検定サポート事務局(株式会社オルタナ)
〒153-0041 東京都目黒区駒場1-26-10-304

URL: www.csr-today.biz
mail: kentei@alterna.co.jp



合格者の声

川南 信彦さん

東レエンジニアリング株式会社
総務部瀬田総務課長

総務部への異動に伴いCSRを推進する立場となり、CSRの基本的な取り組み・考え方を理解したいとの思いから、まずは基礎となる3級を受験しました。3級公式テキストを通して、CSRの現況、社会的課題と企業の役割、取り組みを通じての企業価値の向上等について広く体系的・多面的に学ぶことができ、また社内のCSR課題に対する取り組みの内容についてより理解を深めることができました。更なるリテラシー向上の為、2級にチャレンジしたいと思います。

六土 南月さん

横浜国立大学 国際総合科学部 3年

私は大学でCSRを勉強しております。ゼミでは、実習として企業訪問の機会が多いのですが、専門的な知識を身に付けた上で、実際にCSRに取り組む方々のお話を伺えたら、より大きな意味のある学びにできると考え、受験いたしました。公式テキストは本のように読みやすく、試験勉強をしているという感覚ではありませんでした。ホームページに掲載されている過去の試験問題を、理解度の確認に利用させていただきました。CSR検定では、現在の国際社会や日本社会において重要な話題が取り上げられているので、社会に出る前に学んでおくに役に立つと考えております。検定で得た知識をゼミで活用し、CSRへの理解をさらに深め、就職活動にも活かしていきたいです。

中嶋 ちえみさん

トッパンエディトリアル
コミュニケーションズ株式会社
第一制作本部 管理部

弊社は、事業のひとつに、CSR関連のコミュニケーションツールの作成サポートがあります。そのため、CSR 3級検定を新人教育の一環として取り入れています。このたび私自身も、CSRレポートの編集者と新人研修の担当者という両方の立場から、新人に混じって受験してみました。CSR 3級検定は、CSRの基礎からトレンドまでの知識習得に役立ったばかりでなく、その知識をどう生かすかを考えるきっかけにもなりました。

CSR検定3級 第9回試験の実際の問題(抜粋)

※過去の問題と正答はwww.csr-today.bizからダウンロードできます

問題 5 「世界のCSRをめぐる動き」に関する次の記述で、適切なものはいくつあるか。(**)

1. 欧米企業のCSR活動の歴史を見ると、その背景にはNGO/NPOや地域社会などのステークホルダーが密接に関わってきたと言える
2. 1990年代、石油大手ロイヤル・ダッチ・シェルの石油採掘用大型施設「ブレント・スパー」の処分に関する事件は、シェルの国際法令違反が発覚し、当初計画した海洋投棄を断念させられた事案である
3. 1990年代、米国のスポーツアパレルメーカーのナイキが生産を委託した東南アジアの工場で起きた搾取労働事件は、委託企業に法的責任がなくても、社会的責任を追及されることを教えた事例である
4. 2011年のEU(欧州連合)のCSR定義では、企業の責任は、企業が直接手を下さない資源の採掘や下請けの工場などのサプライチェーンには及ぶが、製品の使用や廃棄も含めたバリューチェーンには及ばない

- ア. 1つ
イ. 2つ
ウ. 3つ
エ. 4つ

問題 6 「ISO26000 とは何か」に関する次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切なものの組み合わせを一つ選べ。(*)

ISO26000 は、「組織の社会的責任」について次のように定義している。組織の決定及び活動が社会及び環境に及ぼす影響(インパクト)に対して、次のような透明かつ(A)な行動を通じて組織が担う責任。

- ① 健康及び社会の繁栄を含む(B)な発展に貢献する
- ② ステークホルダーの期待に配慮する
- ③ (C)を遵守し、国際行動規範と整合している
- ④ その組織全体に統合され、その組織の関係の中で実践される

	A	B	C
ア. 倫理的	持続可能	関連法令	
イ. 合理的	持続可能	関連法令	
ウ. 倫理的	グローバル	社内規範	
エ. 合理的	グローバル	社内規範	

問題 19 日本が直面する社会課題とSDGsが掲げる地球規模の課題は「重なる」ものが多いが、次に記述してある課題で、最も重ならないものを一つ選べ。(**)

- ア. 少子化問題
イ. ブラック企業
ウ. 所得格差の拡大
エ. 子供の貧困